

OKINAWA MUSIC FES



古謝美佐子
KOJA Misako



夏川りみ
NATSUKAWA Rimi



前川守賢
MAEKAWA Shuken

新宿エイサーまつり協力公演

沖縄音楽フェスティバル

出演：古謝美佐子 夏川りみ 前川守賢
新良幸人 里歩寿 琉神
構成・演出：佐原一哉



新良幸人
ARA Yukito

in SHINJUKU BUNKA CENTER



琉神
RYUJIN



里歩寿
SATO Arisu

2023年
7/29 (土)
16時開演 (15時30分開場)
新宿文化センター
大ホール

《全席指定》
一般 4,000円
新宿区民割引 3,800円
友の会割引 3,500円

※未就学児入場不可
※チケット販売の詳細は裏面をご覧ください。

新宿エイサーまつり協力公演

沖縄音楽フェスティバル

古謝美佐子 KOJA Misako



1954年沖縄県嘉手納町生まれ。沖縄民謡女性歌手。9才でレコードデビュー。86年より坂本龍一のユニットに参加。90年より女性4名沖縄民謡グループ「ネーネーズ」にリーダーとして参加し6枚のアルバムなどを発表。1995年末に脱退後ソロ活動開始。ソロCD「天架ける橋」「廻る命」は高く評価され自作詞の子守歌「童神」は多くの歌手がカバーし21世紀の沖縄民謡の代表曲となる。2014年よりの「うないぐみ」の活動では1枚のアルバムと坂本龍一との共作シングル「弥勒世界報」発表。その他、文楽人形とのコラボ公演やモンゴル800などの他のアーティストCDに参加、映画「洗骨」出演(2019)、首里城守礼門にてヨーヨーマと共演(2021)など活動は多岐に渡る。

真夏の新宿の風物詩「新宿エイサーまつり」の協力公演として2005年にスタートした「沖縄音楽フェスティバル」。沖縄出身の古謝美佐子を中心に、琉球音楽を愛するミュージシャン達と楽しむ夏の宴♪同日開催の「新宿エイサーまつり」とともに、真夏の新宿を盛り上げます!

夏川りみ NATSUKAWA Rimi



10月9日生まれ、沖縄県石垣市出身。1999年夏川りみとしてシングル『夕映えにゆれて』でデビュー。2001年3rdシングル『涙そうそう』をリリースし、大ヒット。116週連続チャートイン。2002年、紅白歌合戦に初出場し、以降5年連続出場。2003年「童神」で第45回日本レコード大賞金賞受賞。2004年「愛よ愛よ」で第46回日本レコード大賞最優秀歌唱賞受賞。2006年デヴィッド・フォスター・プロデュースによる、アンドレア・ボチェリとのアルバム『アモーレ』に参加し『ソモス・ソモス〜愛の夢〜』をスペイン語でデュエット。2008年台湾だけでなく、香港、上海などでも公演を行い、アジアでの人気も高まる。2013年セルジオ・メンデスのアルバム『ランデヴー』に参加。2014年10月釜山国際映画祭祝賀会にて「さとうきび畑」を歌い大喝采を浴びる。2015年11月台湾、桃園市と台南市でコンサートを開催し約5,000人を動員。2017年4月初のシンガポールコンサート Best of Rimi Natsukawa Live in Singapore を開催。2018年11月初の南米ツアー(ブラジル2days, ベルー)公演を開催。3日間で5000名を動員。2019年3月初ベトナム、ハノイでソロコンサート開催。2019年9月よりデビュー20周年ツアーを全国26か所開催。2019年10月初の中国大陸ツアー開催(北京、杭州、南京)上海(2019.4)2019年12月5年振りとなるオリジナルアルバム「美らさ愛さ」が日本レコード大賞優秀アルバム賞受賞。2021年3月カバーアルバム「あかり」発売。2021年10月日本作曲家協会音楽祭2021にて「涙そうそう」がロングヒット賞受賞。2021年11月沖縄県世界自然遺産大使に任命される。その唄声は今もなお日本に留まらずアジアや南米からも高い評価を受け続けている。

前川守賢 MAEKAWA Shuken



1960年沖縄県生まれ。沖縄男性民謡歌手の代表的存在。漫談師・前川守康の次男として生まれる。誕生日が「日正月」だったことから、命名まで「元(げん)ちゃん」と呼ばれたが、今なおこの名が愛称として呼び親しまれている。1983年「かなさんど」でレコードデビュー。その他「遊び庭(あしびな)」など数々のヒット曲が多数ある沖縄のスター。また歌はもちろん、司会・踊り・芝居・CMと何でもこなすマルチタレント。また慰問などボランティア活動にも精力的に取り組み、2010年第32回琉球新報活動賞(社会活動)を受賞した。現在、琉球放送ラジオ「民謡で今日拝まばら」にレギュラー出演中。2023年春にニューアルバムを発売予定。

新良幸人 ARA Yukito



1967年沖縄県石垣市白保生まれ。11歳から八重山民謡を父親(新良幸永)に師事。17歳で八重山古典音楽コンクール最高賞を受賞。18歳より大学進学のため石垣を離れ現在も那覇在住である。現在はパーシャクラブやアコースティック・パーシャのヴォーカル&三弦奏者として、また同じパーシャクラブの太鼓・仲宗根哲(サンデー)と2人での活動も平行して行う。シングル「ファムレウタ」はTBS系「筑紫哲也ニュース23」のエンディング曲に起用。2003年11月にはソロアルバム「月虹(げっこう)」を発表。2011年10月にはテイチク・タクミノートよりピアニスト・サトウユウ子とのコラボレーションアルバム『浄夜』をリリース。モントリオール国際映画祭で2冠を受賞した映画『カラカラ』(2013年1月全国公開)で音楽監督を担当。その他、下地イサムとのユニット・THE SAKISHIMA meeting や角松敏生、coba、夏川りみ、犬山イヌコ等のアルバムにも参加しその活躍も多方面に広がっている。

里歩寿 SATO Arisu



奄美大島瀬戸内町出身。兄の影響で4歳より鳥唄を始める。2004年奄美民謡大賞において新人賞受賞を皮切りに数々の賞を受賞する。中学生の時に民謡民舞少年少女奄美連合大会で3年連続最優秀賞受賞。2010年(高校2年)奄美シマ唄日本一大会でグランプリ受賞。同年、奄美民謡大賞において大賞受賞。1996年元ちとせ氏が最年少で受賞して以来、誰も破る事ができなかった最年少記録を塗り替えた。2012年3月アルバム『アリス』リリース。2014年にはドイツ国会議事堂に招待され奄美シマ唄を披露。2018年全国11か所で開催の「グローバルセッション VOICE 心を結ぶ世界の歌声ツアー」にアメリカのゴスペル歌手、スイスのヨーデル歌手らと出演。現在は東京を拠点に全国各地で活動を行なっている。

琉神 RYUJIN



2001年沖縄にて誕生。その後日本の中心である富士の国【静岡】に拠点を移し、国内外に幅広く活動を展開しています。沖縄の民俗芸能を研鑽(けんさん)し、その舞台は本場沖縄の実力派アーティストの支持を受け、コンサート帯同・イベント共演など数多く果たしています。ユネスコ国際音楽会議日本代表としてチュニジアにて出演。海外公演の実績は豊富でヨーロッパツアー(7カ国8都市)、台湾「十鼓節」ゲスト、韓国密陽「演劇祭」ゲスト、夏川りみ台湾公演帯同などがあります。ほかF1鈴鹿GPパドックステージ、静岡県文化出前講座登録、全国的にも珍しいエイサー教室の開催など積極的に活動の場を広げています。

演出/構成 佐原一哉 SAHARA Kazuya



1958年福岡県北九州市生まれ。同志社大学卒業。音楽プロデューサー、キーボード奏者、作詞作曲編曲家。主に、沖縄の民謡や関西の河内音頭や江州音頭等、日本の伝統的大衆音楽と関り、プロデュースする。過去のプロデュースアーティストは「ネーネーズ」(沖縄民謡)『初代桜川唯丸』(江州音頭)『河内家菊丸』(河内音頭)など。現在は主に沖縄民謡の『古謝美佐子』及び『うないぐみ』の総合プロデューサー。作曲家としては森進一、都はるみ、三波春夫、夏川りみ、中尾彬等に曲を提供する。代表作曲作「童神〜ヤマトグチ」(夏川りみ)は2003年度日本レコード大賞金賞を受賞。CDレーベル「DISC MILK」主宰。その他、コンサートなどの企画、構成、演出、を始め、文楽人形と古謝のコラボ作品「吉屋チル〜物語」の脚本や、映画「鬼に訊け〜宮大工 西岡常一の遺言」や「洗骨」などの音楽を手がけるなど、多岐に活躍する。

【入場券取扱い：全席指定】※未就学児入場不可

一般 4,000円

新宿区民割引 3,800円

※区民割引は電話・窓口(要証明書)のみの取扱い

友の会割引 3,500円

【友の会先行販売】 4月22日(土) 10:00 ~ 電話・Web / 12:00 ~ 窓口

【Web販売】 4月26日(水) 10:00 ~

【一般販売】 4月29日(土) 10:00 ~ 電話 / 12:00 ~ 窓口

【プレイガイド】 4月30日(日) 10:00 ~

チケットぴあ(Pコード 239-743) / イープラス

※新宿文化センター友の会割引は事前の会員登録(有料)が必要です。詳しくは、新宿文化センターウェブサイトをご覧ください。

※車椅子でご観覧のご希望は、新宿文化センターへお電話でご連絡ください。

※電話予約でチケットの郵送を希望される場合、別途チケット郵送料84円をご負担いただけます。

※チケットご購入の際に収集したお客様の個人情報は、チケット発券システム「Getii」および、当財団個人情報保護規定に基づき、適正かつ厳重に管理いたします。

※公演中止の場合以外のチケット払戻しはできません。また、紛失の場合も再発行はできませんので、ご注意ください。

※公演内容の変更および中止等が発生した場合は、新宿文化センターWebサイトにてお知らせします。最新情報を確認の上ご来場ください。

新宿文化センター TEL:03-3350-1141 (発売日は10:00~19:00/ 発売翌日以降は休館日を除く9:00~19:00)

主催:公益財団法人新宿未来創造財団 問合せ:新宿区立新宿文化センター(新宿区新宿6-14-1)

Tel:03-3350-1141 休館日:原則毎月第2火曜日

